

19
改題
印

19

光子 はい (硯箱と文庫を出す)

秀作 …… (筆を執りつつと考へてゐる)

手いやく 響へる。胸の痛みを軽く呻く。筆を

持出す。

世藤川 旦那、どうしたんです。(秀作は)

近頃の行つて世藤君は筆を拾ひ上げ無理由秀

作 [] の手に握らせる。

六左衛門 え、この鬼奴、人がおし奴

世藤川 旦那、さあお書きあさい。五百円

2" せ。

秀作 …… (筆と紙を握り持出す)

つと一点を見つめ大に呻く

光子 ああ、(あわて、うしろの胸

を抱く)

秀作 ……

(紙かたに浪の音) 草席

